

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト 2017 報告書⑥

開催日：平成29年8月19日（土）

時間：13時30分～15時00分

場所：レクチャールーム・噴水池

参加人数：25名中19名

運営スタッフ：高木，安井，伊藤英，精華大学板倉ゼミ学生

内容：・イチモンジタナゴの観察

- ・水質検査
- ・噴水池もんどりしかけ→引き上げて観察会
- ・ヤリタナゴ・カネヒラの放流
- ・全6回のふり返り
- ・終了証明缶バッジ作り

まずは恒例のイチモンジタナゴの観察です。



ほとんどオスとメスのくべつがつかないくらいになってしまいました。今回は放流予定のヤリタナゴとカネヒラも見てもらいました。

その後も、恒例の「水質検査」をしました。

6回目となった水質検査ですが、みなさんの手際がとてもよかったです。5箇所の6回分をまとめたものも最後に配布しました。

水槽や上流の池は中性（7～7.5）であったのに対し、噴水池はアオミドロのあるなしに限らずかなりのアルカリ性（9～9.5）であったのが印象的でした。

そして前回、みなさんにペットボトルもんどりを作ってきてくださいと宿題を出しましたので多くの方が自作のもんどりを持参してくれました。



まずはエサを入れ、

思い思いの場所に沈めました。



魚が入るといいなあ…と、待っている間はレクチャールームに戻ります。

今まで6回に渡りいろいろな活動をしてきましたので、ふり返ってみました。園内で琵琶湖疏水を利用しているところをみんなで巡ったり、大型水槽の立ち上げをしたり、他にも噴水池の掃除、外来種であるアメリカザリガニの駆除などいろいろなことをしました。

それらを踏まえて、終了証明として自分の言葉を書き込んで缶バッジを制作しました。





すてきな缶バッジができました！
みなさんのコメントがとても嬉しかったです。

そして、園内看板に掲示する予定の今期プロジェクトのメンバーをイチョモジタナゴ型の紙に書いて水色の画用紙に貼りました。



そんなこんなであっという間に、もんどりを引き上げる時間になりました。
みなさん、わくわくドキドキしながら足早に噴水池に向かいます。



引き上げる前に、ヤリタナゴとカネヒラの放流です。
動物園の噴水池と同じ水系である白川の生物調査で得たカネヒラが、同じく白川で得た二枚貝に噴水池で産卵し、見事ふ化して大きくなりました。ヤリタナゴももともと噴水池にいた個体から増えたものたちです。ですので、この噴水池に放しても問題はありません。これから、もっとここで増えてねと願いを込めて放しました。

さあ、もんどりを引き上げてみましょう！



それぞれのもんどりに入っている生き物をみんなで観察します。どんな生き物が採れたのでしょうか…



覗き込むその先は…

残念…



数匹のアメリカザリガニと小さなエビがいっぱいでした。

目視では魚影が見られたのに魚は1匹も入りませんでした。やはり、まだまだ魚が少ないですね。

これから、この池で多くの魚が見られるようになって欲しいと願うばかりです。

これにて「守れ！イチモンジタナゴ!!プロジェクト2017」全6回が終了しました。

みなさんにはこのプロジェクトでいろいろなことを学んでいただけたようです。このプロジェクトはイチモンジタナゴを増やそう！守ろう！というのですが、イチモンジタナゴが生息できる環境は様々な生物がバランスよくいることで成り立つということを知っていただけました。そして、なによりも大切なのはプロジェクトが終わってからも今の気持ちを忘れないということで、小さなことでもいいので自分にできることを続けていってくださいとお願いしました。

その後、みなさんの感想文を見てとても感激しました。私たちが伝えたかったことがしっかり伝わっていたこと、そして何より全員が「楽しかった！」と感じてくれたことが嬉しかったです。



みなさん、本当にありがとうございました！！